



事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		0	0	12,400				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	0	0	8,266				
	一般財源	0	0	4,134				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	長崎県建設技術研究センター — 派遣職員数	年度内派遣職員数	人	目標	1	1	1
					実績	0	0	1
					目標達成率（％）	0	0	100
	②				目標			
					実績			
目標達成率（％）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ職種に携わる職員同士が一同に会し、自治体の現状や課題を様々な視点で議論する中で職員の能力向上を図る。</li> <li>・ 研修で学んだ各自治体の取組みを持ち帰り、職場内で情報を共有することで今後の業務見直し等に活用できる。</li> <li>・ 受講者とのコミュニケーションを通じて、情報交換や交流を図り自身の業務意識の向上（モチベーションアップ）に繋がる。</li> </ul>

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 目標(目的)指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標(目的)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標(目的)指標の実績値は、目標を下回った	
(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由		
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業(実務)に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業(実務)に反映できない	職員の資質向上、人材育成を目的とした研修派遣事業のため。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	住民ニーズに的確に対応できる職員の能力(資質)向上のため。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 事業内容・実施方法の工夫	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	行政サービスの向上に直接つながる事業ではなく、間接的な効果を求める事業であるが、当該事業の効果は高く、継続(現状維持)する必要があると考えられる。				